

横須賀市自然・人文博物館に収蔵されている 神奈川県レッドリスト掲載種および関連する鞘翅目の標本について

齋藤 理*・内船俊樹**

Coleopteran specimens of species on the Kanagawa Prefecture Red List and related species stored in the Yokosuka City Museum

Osamu SAITOH * and Toshiki UCHIFUNE **

キーワード: 神奈川県レッドリスト, 鞘翅目, 標本, 横須賀市自然・人文博物館

Key words: Kanagawa Prefecture Red List, Coleoptera, specimen, Yokosuka City Museum

神奈川県レッドリストの更新に際して候補種の評価を行う上で、各種の過去の記録は重要な資料の一つである。筆者らは横須賀市自然・人文博物館に収蔵されている鞘翅目標本の中から、同群の県レッドリストの再検討に資する未発表標本20科72種424点について収録した。これまでに神奈川県レッドリストにて絶滅種と判定され、県内産の標本が現存していないもしくは1例しかないとされていた2種の標本を新たに見出すことができた。また、県内では絶滅や絶滅危惧とされた水生種がかつて多数生息していたことを示す標本を見出したことにより、当該産地のかつての生息環境の豊かさを裏付けた。

For evaluating candidate specimens to update the Kanagawa Prefecture Red List, historical records of each species are among the most important resources. The authors included 424 specimens of 72 species across 20 families from the Coleopteran collection housed in the Yokosuka City Museum, which will contribute to the review of the Red List for this group. Specimens of two species, listed as extinct on the Red List, were discovered within the museum's collection, even though no or only one specimen from the prefecture was known to exist. The discovery of these specimens suggests that many aquatic Coleopteran species, once considered extinct or endangered in the prefecture, indeed inhabited this specific area, confirming the richness of its former habitat.

鞘翅目(甲虫)は昆虫のなかでも最大の種数を擁するグループで、都道府県単位で昆虫相の調査精度が最も高いと考えられる神奈川県からは、2020年の時点で4,544種が記録されている(齋藤・松原、

2021)。

生物の絶滅危険度を評価するレッドデータブックの神奈川県版である『神奈川県レッドデータ生物調査報告書』は、1995年に初めて発行され(神奈川県

* 神奈川県昆虫談話会

** 横須賀市自然・人文博物館 〒238-0016 神奈川県横須賀市深田台95

原稿受付 2024年12月1日 横須賀市博物館業績798号

Corresponding author: Toshiki UCHIFUNE, toshiki-uchifune@city.yokosuka.kanagawa.jp

レッドデータ生物調査団編, 1995), その後2006年に更新され, 鞘翅目全体(甲虫類・ゴミムシ類・水生甲虫類・ホタル類・カミキリムシ類)では374種が掲載された(高桑ほか編, 2006)。その後はレッドリストの更新がなされない状態が続いていたが, 近年更新に向けた作業が行われている。

しかしながら, その評価のための重要な資料のひとつである過去の記録が充実している種は, 特徴が顕著なグループなど一部に限られるうえ, 半世紀以上前の古い記録は非常に乏しい。

筆者らは横須賀市自然・人文博物館に収蔵されている鞘翅目の標本整理を行うなかで, 神奈川県レッドリストの掲載種など, 関連する標本を少なからず確認している。

本報告ではこれらのうち, 高桑ほか編(2006)の掲載種および, 将来掲載される可能性のある種で, これまで記録が未発表であった鞘翅目の標本についてまとめた。

なお, 橋本・内船(2010)や内船(2017)のように, 個人や地域, 分類群単位でまとめられているコレクションに含まれる標本については, すでに目録が公表済みないし今後公表予定であることから, 本報告では割愛した。また, 既発表記録も含めて検討を要するものについても今後報告する予定である。

目録の種名は基本的に平野ほか(2018)に準拠した。同定は齋藤が行い, 主として林ほか編(1984), 黒沢ほか編(1985), 上野ほか編(1985)および中島ほか(2020)を参照したほか, 個々の分類群の項に記した総説なども参照した。神奈川県レッドリストに掲載されている種は種名の後にカテゴリーを示した。標本に付した登録番号(横須賀市自然博物館昆虫資料: YCM-I)はラベルデータ末尾にカッコ書きで番号のみまとめて記した(図版キャプションも同様)。標本写真は掲載種から著者らの判断で1点ずつ選択し, 内船が撮影した。記録に問題のある種や, 神奈川県レッドリストに掲載されていない種の生息状況などについては目録中で言及したが, それ以外の種に関しては高桑ほか編(2006)を参照されたい。

鞘翅目 Coleoptera

ミズスマシ科 Gyrinidae Latreille, 1810

ミズスマシ *Gyrinus (Gyrinus) japonicus* Sharp, 1873 [準絶滅危惧] (第1図a)

2♂2♀, 葉山町森戸川, 21.VI.1978, 大場信義. [4410, 32779–32781]

2♂, 逗子市久木, 7.VI.1964, 浜口哲一. [1375, 32782]

1♂, 逗子市二子山, 20.VII.1970, 石渡裕之. [37081]

10♂13♀, 逗子市二子山, 24.VII.1970, 石渡裕之. [37082–37099, 37101–37105]

7♂1♀, 葉山町長柄, 17.V.1978, 大場信義. [37106–37113]

オサムシ科 Carabidae Latreille, 1802

シロヘリハンミョウ *Callytron yuasai* (Nakane, 1955)

[絶滅危惧II類] (第1図b)

1♂1♀, 三浦市鷗崎, 8.VII.1982, 採集者不明. [32783, 32784]

1♀, 三崎町諸磯, 6.VIII.2000, 角田 亘. [32785]

1♀, 三浦市城ヶ島, 9.VII.2000, 角田 亘. [32786]

カワラゴミムシ *Omophron (Omophron) aequale*

Morawitz, 1863 [絶滅危惧II類] (第1図c)

1ex., 逗子市久木, 24.IX.1963, 浜口哲一. [1340]

1ex., 逗子市久木, 3.VIII.1964, 浜口哲一. [1341]

1♂, 逗子市久木, 30.VI.1965, 浜口哲一. [32787]

1♀, 藤沢市片瀬, 29.VIII.1935, 山本 玄. [32788]

上記の藤沢市片瀬産の標本のラベルには「ヨル」と付記されている。

ヒョウタンゴミムシ *Scarites (Parallelomorphus)*

aterrimus Morawitz, 1863 [絶滅危惧II類] (第1図d)

1ex., 葉山町一色海岸, 00.VII.1977, 池田 等. [4659]

1ex., 葉山町下山口, 25.IV.2000, 角田 亘. [32789]

1ex., 横須賀市走水, 20.IV.2001, 角田 亘. [32790]

1ex., 横須賀市野比海岸, 30.VI.1963, 浜口哲一. [1342]

1ex., 横須賀市佐島, 20.VIII.2000, 角田 亘. [32791]

1ex., 横須賀市佐島天神島, 18.V.2008, 内船俊樹. [32792]

1ex., 横須賀市佐島天神島, 29.IV.2001, 角田 亘. [32793]

6exs., 横須賀市天神島, 19.IX.1976, 大場信義. [5182, 5184, 5186, 5187, 5190, 32794]

1ex., 三浦市下浦海岸, 25.V.1965, 山本洋三. [32795]

クロヒメヒョウタンゴミムシ *Clivina lewisi* Andrewes, 1927 [準絶滅危惧] (第1図e)

1ex., 逗子市新宿, 19.VII.1957, 森下和彦. [5959]

コハンミョウモドキ *Elaphrus (Elaphroterus)**punctatus* Motschulsky, 1844 [絶滅危惧II類] (第1図f)

2exs., 横須賀市大津, 28.IV.1935, 山本 玄. [37100, 37114]

上記の標本のラベルの地名は「カナガワ/Ohts」と表記されている。

オサムシモドキ *Craspedonotus tibialis* Schaum, 1863

[絶滅危惧II類] (第1図g)

2exs., 葉山町下山口, 9.X.2000, 角田 亘. [32796, 36932]

1ex., 逗子市新宿, 30.V.1953, 森下和彦. [32797]

1ex., 逗子市新宿, 9.VI.1953, 森下和彦. [32798]

オオキンナガゴミムシ *Poecilus (Poecilus) samurai*

(Lutshnik, 1916) [準絶滅危惧] (第1図h)

1♂, 横浜市金沢区, 27.IX.1964, 増井 透. [1037]

コホソナガゴミムシ *Pterostichus (Phonias) longinquus*

Bates, 1873 [準絶滅危惧] (第1図i)

1♀, 茅ヶ崎市相模川, 17.II.1963, 浜口哲一. [9526]

1♀, 平塚市金目川, 26.XII.1963, 浜口哲一. [9527]

タオマメゴモクムシ *Stenolophus (Stenolophus) taoi*

Kasahara, 1989 [準絶滅危惧] (第1図j)

1ex., 逗子市久木, 9.VI.1963, 浜口哲一. [1727]

同定には Kasahara (1989) を参照した。

クロズカタキバゴミムシ *Badister (Baudia) nigriceps*

Morawitz, 1863 [準絶滅危惧] (第1図k)

2exs., 山北町西丹沢, 9.VII.1978, 大場信義. [4924, 4545]

ヨツボシゴミムシ *Panagaesus (Panagaesus) japonicus*

Chaudoir, 1861 [準絶滅危惧] (第1図l)

1♀, 横須賀市観音崎, 25.III.1979, 露木繁雄.

[32799]

1♀, 横須賀市野比海岸, 29.III.1965, 増井 透. [1742]

1♀, 茅ヶ崎市相模川, 17.II.1963, 浜口哲一. [9526].

アカガネアオゴミムシ *Chlaenius (Pachydinodes)**abstersus* Bates, 1873 [準絶滅危惧] (第1図m)

1♂, 横須賀, 23.VI.1977, 採集者不明. [32800]

イマイチビアトキリゴミムシ *Microlestes imaii* Habu,

1972 [情報不足B] (第1図n)

1ex., 横須賀市芦名, 29.IV.2002, 角田 亘. [36784]

コガシラミズムシ科 Halipidae Aubé, 1836

コガシラミズムシ *Pelodytes intermedius* (Sharp, 1873)

[絶滅危惧IB類] (第1図o)

1ex., 鎌倉, 00.VII.1970, 採集者不明. [36785]

1ex., 逗子市沼間, 20.VII.1946, 採集者不明. [36786]

1ex., 藤沢市片瀬, 29.VIII.1935, 山本 玄. [36787]

上記の藤沢市片瀬産の標本のラベルには「ヨル」と付記されている。

ゲンゴロウ科 Dytiscidae Leach, 1815

キボシケシゲンゴロウ *Allopachria flavomaculata*

(Kamiya, 1938) [絶滅危惧IB類] (第1図p)

1ex., 葉山町森戸川 (大山林道), 10.VIII.1965, 浜口哲一. [25675]

ケシゲンゴロウ *Hyphydrus japonicus* Sharp, 1873 [絶滅危惧IA類] (第2図a)

2♂♂, 藤沢市片瀬, 29.VIII.1935, 山本 玄. [25673, 25674]

上記の藤沢市片瀬産の標本のラベルには「ヨル」と付記されている。

ツブゲンゴロウ *Laccophilus difficilis* Sharp, 1873 [絶滅] (第2図b)

1ex., 横須賀市秋谷, 16.III.1989, 大場信義. [25675]

クロズマメゲンゴロウ *Agabus (Acatodes) conspicuus*

Sharp, 1873 [絶滅危惧II類] (第2図c)

1ex., 逗子市桜山, 27.VI.1956, 石渡裕之. [25667]

キベリクロヒメゲンゴロウ *Ilybius apicalis* Sharp,

1873 [絶滅] (第2図d)

1ex., 藤沢市片瀬, 21.VIII.1935, 山本 玄. [25668]

上記の標本のラベルには「ヨル」と付記されている。

ヒメゲンゴロウ *Rhantus sturalis* (MacLeay, 1825) (第2図e)

1♀, 葉山町森戸川, 7.IX.1964, 山本洋三. [36788]

1♀, 逗子市二子山, 18.V.1968, 石渡裕之. [36789]

1♂, 逗子市神武寺, 20.VI.1976, 大場信義. [36790]

1ex., 逗子市桜山, 10.VI.1956, 森下和彦. [5934]

1ex., 逗子, 4.V.1946, 森下和彦. [5939]

1ex., 逗子, 5.VIII.1957, 森下和彦. [5933]

2exs., 藤沢市片瀬, 29.VIII.1935, 山本 玄. [36791, 36792]

上記の藤沢市片瀬産の標本のラベルには「ヨル」と付記されている。本種は神奈川県レッドリストには未掲載であるが、横浜市における調査では近年になって減少した可能性が指摘されている (佐野ほか, 2018)。

シマゲンゴロウ *Hydaticus (Prodaticus) bowringii*

Clark, 1864 [絶滅危惧IB類] (第2図f)

1♂, 横須賀市追浜, 25.VII.1962, 鈴木 裕. [36793]

コシマゲンゴロウ *Hydaticus (Prodaticus) grammicus* (Germar, 1830) (第2図g)

- 1♀, 横浜市戸塚区俣野町, 30.VII.1981, 高桑正敏. [36794]
 1ex., 横須賀市吉井, 29.VIII.1987, 大場信義. [36795]
 1♂, 横須賀市長沢, 6.V.1972, 坂本繁夫. [36796]
 3exs., 藤沢市片瀬, 29.VIII.1935, 山本 玄. [36797-36799]
 1♂, 海老名市中新田, 26.V.1978, 伊藤正宏. [36800]
 1♂, 海老名市中新田, 14.VIII.1978, 伊藤正宏. [36801]
 1ex., 厚木市七沢(自然保護センター), 10.VIII.1980, 大場信義. [36802]

上記の藤沢市片瀬産の標本のラベルには「ヨル」と付記されている。本種は神奈川県レッドリストには未掲載であるが、横浜市における調査では近年になって減少した可能性が指摘されている(佐野ほか, 2018)。

マルガタゲンゴロウ *Graphoderus adamsii* (Clark, 1864) [絶滅危惧IA類] (第2図h)

- 1♂, 逗子市池子, 25.VII.1941, 森下和彦. [5930]

クロゲンゴロウ *Cybister (Melanectes) brevis* Aubé, 1838 [絶滅危惧IA類] (第2図i)

- 1♂, 葉山町峯山の池, 00.V.1989, 大場信義. [36803]
 1♀, 葉山町峯山の池, 00.V.1990, 大場信義. [36804]
 1♀, 逗子市池子, 22.VII.1941, 森下和彦. [5948]
 1♀, 逗子市池子, 26.VII.1941, 森下和彦. [5947]

ゲンゴロウ *Cybister (Cybister) chinensis* Motschulsky, 1854 [絶滅] (第2図j)

- 1♀, 藤沢市片瀬, 29.VIII.1935, 山本 玄. [25647]

上記の標本のラベルには「ヨル」と付記されている。

ガムシ科 Hydrophilidae Latreille, 1802

クナシリシジミガムシ *Laccobius (Laccobius)*

kunashiricus Shatrovskiy, 1984 [情報不足B] (第2図k)

- 12♂♂, 葉山町長柄, 28.III.1963, 浜口哲一. [1523, 36805-36815]
 1♂, 逗子市久木, 23.V.1963, 浜口哲一. [1524]

同定には上手ほか(2013)を参照した。近似種との識別には雄交尾器の検鏡が必要であることから本報告では割愛したが、上記の標本と同日同所で得られた本種の雌と思われる多数の標本も確認している。なお、高桑ほか編(2006)では本種の県内にお

る生息について疑義が示されているが、現在までに上野ほか編(1985)に未掲載の本種を含む数種について、過去に近似種のシジミガムシ *L. (L.) bedeli* Sharp, 1884と混同されて記録されていたことが判明しており(上手ほか, 2013; 平野ほか, 2018), その後本種は横浜市, 鎌倉市, 三浦市および秦野市から記録されている(平野ほか, 2018)。

コガムシ *Hydrochara affinis* (Sharp, 1873) [準絶滅危惧] (第2図l)

- 1ex., 横浜市戸塚区俣野町, 30.VII.1981, 高桑正敏. [36816]
 1ex., 逗子市久木, 31.VII.1964, 浜口哲一. [36817]
 1ex., 逗子市久木, 2.VIII.1964, 浜口哲一. [1504]
 1ex., 逗子市久木, 3.VIII.1964, 浜口哲一. [1505]
 1ex., 海老名市中新田, 14.VIII.1978, 伊藤正宏. [36818]
 1ex., 山北町筈沢, 27.VIII.1979, 露木繁雄. [36819]

ヒメガムシ *Sternolophus (Sternolophus) rufipes* (Fabricius, 1792) (第2図m)

- 1ex., 鎌倉市岡本, 23.I.1965, 山本洋三. [36820]
 1ex., 逗子市桜山, 23.VII.1955, 石渡裕之. [36821]
 1ex., 逗子市桜山, 16.IX.1958, 石渡裕之. [36822]
 3exs., 逗子市久木, 13.VIII.1963, 浜口哲一. [1506, 1508, 1509]
 1ex., 逗子市久木, 2.IX.1963, 浜口哲一. [1507]
 1ex., 三浦市三崎町諸磯黒鯛, 21.VII.1962, 浜口哲一. [36823]

本種は神奈川県レッドリストには未掲載であるが、横浜市における調査では近年になって減少した可能性が指摘されている(佐野ほか, 2018)。

タマガムシ *Amphiops mater* Sharp, 1873 [絶滅危惧IB類] (第2図n)

- 1ex., 逗子市久木, 19.V.1963, 浜口哲一. [1514]

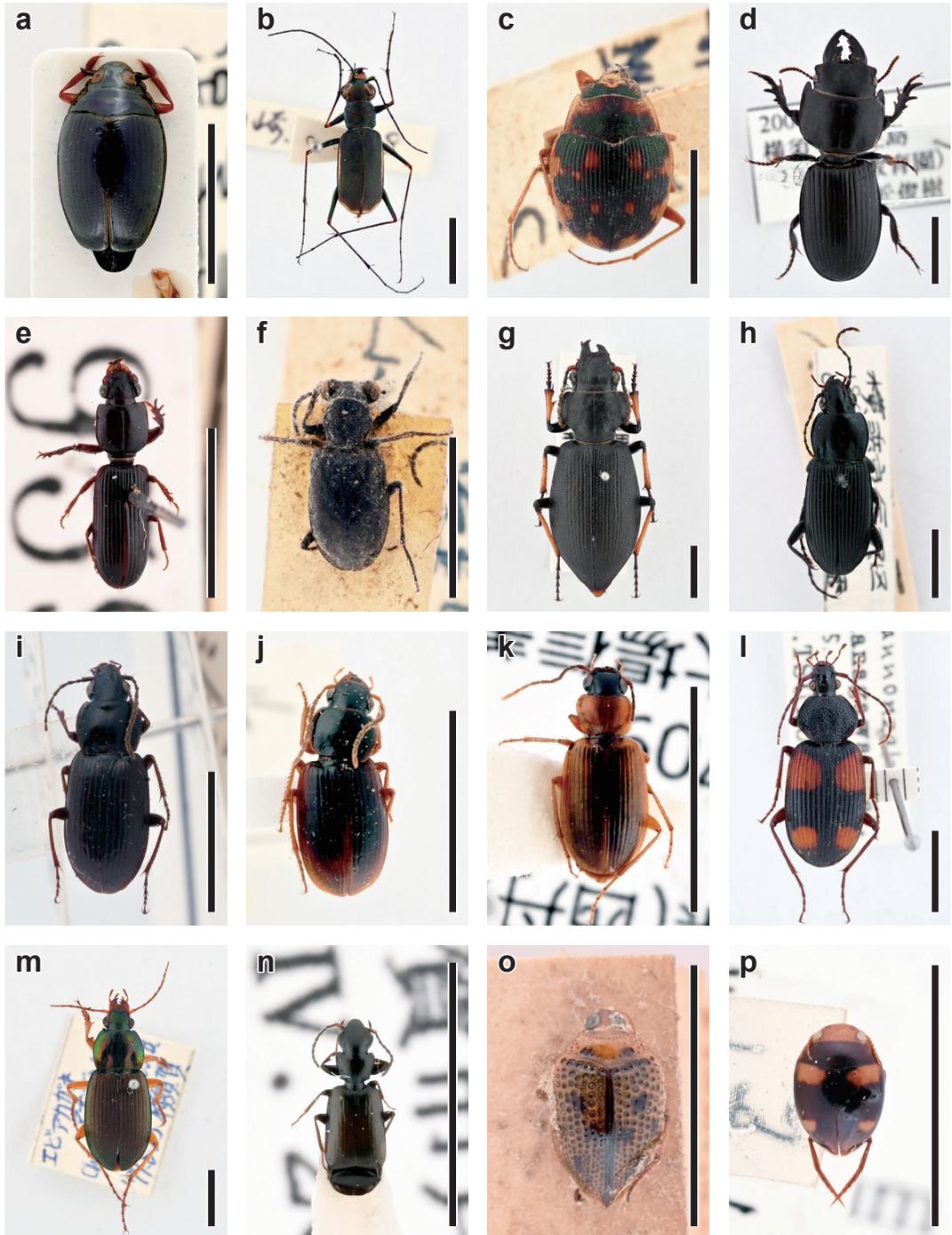
マメガムシ *Regimbartia attenuata* (Fabricius, 1801) (第2図o)

- 1ex., 逗子市久木, 7.VIII.1963, 浜口哲一. [1516]
 3exs., 逗子市久木, 13.VIII.1963, 浜口哲一. [1515, 36824, 36825]

本種は神奈川県レッドリストには未掲載であるが、横浜市における調査では近年になって減少した可能性が指摘されている(佐野ほか, 2018)。

ゴマフガムシ *Berosus (Berosus) punctipennis* Harold, 1878 (第2図p)

- 2exs., 葉山町長柄, 28.III.1963, 浜口哲一. [1510, 1512]



第1図 本報掲載種の標本写真。その1. a ミズスマシ [32782], b シロヘリハンミョウ [32783], c カワラゴミムシ [32788], d ヒョウタンゴミムシ [32792], e クロヒメヒョウタンゴミムシ [5959], f コハンミョウモドキ [37100], g オサムシモドキ [32796], h オオキンナガゴミムシ [1037], i コホソナガゴミムシ [9527], j タオマゴモクムシ [1727], k クロズカタキバゴミムシ [4924], l ヨツボシゴミムシ [32799], m アカガネアオゴミムシ [32800], n イマイチビアトクリゴミムシ [36784], o コガシラミズムシ [36787], p キボシケンゲンゴロウ [25675]。スケールはいずれも 5 mm。

- 1ex., 逗子市久木, 2.IX.1963, 浜口哲一. [1513]
 1ex., 逗子市久木, 8.IX.1963, 浜口哲一. [1511]
 1ex., 逗子市久木, 5.IX.1964, 浜口哲一. [36826]
 1ex., 三浦市引橋, 20.XI.1977, 石渡裕之. [36827]
 1ex., 海老名市中新田, 26.V.1978, 伊藤正宏. [36828]
 1ex., 海老名市中新田, 4.VIII.1978, 伊藤正宏.
 [36829]

本種は神奈川県レッドリストには未掲載であるが、横浜市における調査では近年になって減少した可能性が指摘されている(佐野ほか, 2018)。

マルヒラタガムシ *Enochrus (Lumetus) subsignatus* (Harold, 1877) [情報不足 A] (第3図a)

- 39exs., 三浦市引橋, 8.IV.1978, 大場信義. [36830–36868]

上記の標本には採集者を示すラベルは付されていないが、神奈川県昆虫調査団編(1981)および高桑(1987)による同日同所で得られた他種の記録から、採集者は大場信義氏と思われる。

ダルマガムシ科 Hydraenidae Mulsant, 1844

クロコブセスジダルマガムシ *Neochthebius granulatus* (M. Satô, 1963) [準絶滅危惧] (第3図b)

- 2exs., 横須賀市佐島, 2.VI.2000, 角田 亘. [36869, 36870]

シデムシ科 Silphidae Latreille, 1806

ヒメヒラタシデムシ *Thanatophilus sinuatus* (Fabricius, 1775) [絶滅危惧II類] (第3図c)

- 1♂1♀, 逗子市久木, 4.IV.1963, 浜口哲一. [1297, 36871]
 1♂, 三浦市三戸海岸, 7.IV.1979, 露木繁雄. [36872]
 1♂, 三浦市小浜, 21.IV.1983, 大森. [36873]

ヤマトモンシデムシ *Nicrophorus japonicus* Harold, 1877 [絶滅危惧II類] (第3図d)

- 1♀, 海老名市中新田, 25.V.1978, 伊藤正宏. [36874]

クワガタムシ科 Lucanidae Latreille 1804

ミヤマクワガタ *Lucanus maculifemoratus maculifemoratus* Motschulsky, 1861 [要注意種] (第3図e)

- 1♂1♀, 横浜市金沢区釜利谷町, 25.VII.1979, 榎戸良裕. [36875, 36876]
 2♂2♀, 逗子市二子山, 23.VII.1979, 榎戸良裕.
 [36877–36880]
 1♂1♀, 逗子市桜山, 15.VII.1962, 浜口哲一. [6373, 1783]

- 1♀, 逗子, 29.VI.1960, 大場信義. [6364]
 1♀, 逗子, 20.VII.1960, 大場信義. [6366]
 1♀, 逗子, 23.VII.1960, 大場信義. [6377]
 1♂, 横須賀市久村, 13.VIII.1976, 坂本繁夫. [6392]
 1♂, 横須賀市馬堀海岸, 4.IX.2002, 角田 亘. [36881]
 1♀, 横須賀市大楠山, 24.VIII.1979, 大場信義. [4750]
 1♀, 横須賀市大楠山, 23.VII.1980, 榎戸良裕. [36882]
 1♀, 横須賀市阿部倉町, 19.VIII.1981, 榎戸良裕.

[36883]

- 1♀, 横須賀市神明町, 19.VIII.1993, 大場信義.

[36884]

- 1♀, 横須賀市, 31.VII.1954, 山田. [6370]
 1♂, 藤野町奥牧野, 26.VII.1987, 採集者不明. [36885]
 1♂, 蛭ヶ岳, 14.VII.1979, 大場信義. [6387]
 1♀, 蛭ヶ岳, 25.VII.1979, 採集者不明. [4267]
 1♂, 山北町丹沢湖, 13.VII.1979, 伊藤正宏. [4280]
 1♂1♀, 山北町西丹沢, 9.VII.1978, 大場信義. [4868, 36886]
 1♂, 箱根町仙石原, 5.VIII.1973, 採集者不明. [6386]

ヒラタクワガタ *Dorcus titanus pilifer* (Snellen van Vollenhoven, 1861) [絶滅危惧II類] (第3図f)

- 1♂, 逗子市桜山, 15.VII.1953, 石渡裕之. [36887]
 1♂, 逗子市, 00.VII.1956, 大場信義. [37128]
 1♂, 横須賀市, 19.VIII.1975, 採集者不明. [6412]

コガネムシ科 Scarabaeidae Latreille, 1802

オオフタホシマガネ *Aphodius (Aphodius) elegans* Allibert, 1847 [準絶滅危惧] (第3図g)

- 1ex., 横須賀市十三峠, 22.XI.1964, 山本岸三. [36888]

ヒゲコガネ *Polyphylla (Gynexophylla) laticollis* Lewis, 1887 [絶滅危惧II類] (第3図h)

- 4♀♀, 厚木市岡田, 14.VII.1986, 採集者不明. [36889–36892]
 4♂♂, 厚木市戸沢橋, 23.VII.1987, 中村進一. [36893–36896]
 1♂1♀, 厚木市, 23.VII.1987, 森下和彦. [36897, 36898]

シロスジコガネ *Polyphylla (Granida) albolineata* (Motschulsky, 1861) [絶滅危惧II類] (第3図i)

- 1♂, 横浜市磯子区円海山, 16.VII.1961, Morino.
 [36899]
 1♂, 横須賀市野比(野比駅前), 19.VII.1971, 坂本繁夫. [37115]
 2♀♀, 横須賀市野比, 13.VII.1973, 坂本繁夫. [37116, 37117]



第2図 本報掲載種の標本写真。その2。a ケシゲンゴロウ [25673], b ツブゲンゴロウ [25675], c クロズマメゲンゴロウ [25667], d キベリクロヒメゲンゴロウ [25668], e ヒメゲンゴロウ [5933], f シマゲンゴロウ [36793], g コシマゲンゴロウ [36794], h マルガタゲンゴロウ [5930], i クロゲンゴロウ [5948], j ゲンゴロウ [25647], k クナシリジミガムシ [1524], l コガムシ [36816], m ヒメガムシ [36822], n タマガムシ [1514], o マメガムシ [36825], p ゴマフガムシ [1513]。スケールはいずれも5 mm。

1♂, 三浦市初声町下宮田, 30.VII.1986, 石渡裕之.

[36900]

2♂2♀, 平塚市, 3.VII.1980, 鈴木 裕. [7094-7096, 7100]

8♂3♀, 平塚市(袖ヶ浦港), 3.VII.1980, 中村進一. [6430, 37118-37127]

19♂12♀, 平塚, 7.VII.1980, 中村進一. [36901-36931]

ヤマトアオドウガネ *Anomala viridana* (Kolbe, 1886)
(第3図j)

1ex., 鎌倉市十二所, 2.VIII.1973, 大場信義. [4679]

1ex., 逗子市久木, 31.VII.1964, 浜口哲一. [1848]

本種は神奈川県レッドリストには未掲載であるが、近年急増した近似種のアオドウガネ *A. albopilosa* (Hope, 1839) に取って代わられるように本種が減少した可能性が高いことが指摘されている(平野ほか, 2018)。

アカマダラハナムグリ *Anthracophora rusticola*
Burmeister, 1842 [準絶滅危惧] (第3図k)

2exs., 横須賀市子安, 16.VIII.1986, 大場信義.

[36933, 36934]

タマムシ科 Buprestidae Leach, 1815

タマムシ *Chrysochroa fulgidissima fulgidissima*
(Schönherr, 1817) [要注意種] (第3図l)

1♀, 横浜市北方, 14.VII.1956, S. Ueki. [37129]

1♂, 横浜市旭区上白根町, 23.VI.1975, 松村. [6258]

1♂, 横浜市金沢区, 00.VI.1969, 西村正賢. [36935]

1♀, 逗子市久木, 12.VII.1962, 浜口哲一. [1907]

1♀, 横須賀市大津, 11.VIII.1968, 採集者不明.

[25692]

1♀, 横須賀市武山, 00.VII.1992, 大場信義. [36936]

1♀, 横須賀市馬堀, 26.VI.1974, 採集者不明. [25694]

1♂, 横須賀市馬堀, 15.VIII.1978, 採集者不明.

[36937]

1♂, 横須賀市馬堀, 23.VIII.1979, 大場信義. [6617]

1♀, 横須賀市富士見町, 17.VIII.1976, 田辺. [25695]

1♀, 横須賀市汐入, 2.VII.1976, 秋本. [36938]

1♀, 横須賀市, 1.VIII.1973, 大場信義. [25690]

1♀, 三浦市南下浦町菊名, 3.VIII.2011, 江川公明.

[36939]

上記の YCM-I 6258 のラベルの地名は「鶴ヶ峰光ヶ丘」と記されているが、この地名は鶴ヶ峰ではなく、上白根町のひかりが丘団地周辺を指すと考えられることから、上白根町と表記した。また、横須賀市武山産のラベルには「鳥に喰われたタマムシ」と記さ

れている。

ウバタマムシ *Chalcophora japonica japonica* (Gory, 1840) [準絶滅危惧] (第3図m)

1♀, 横浜市本牧, 29.VI.1957, S. Ueki. [37130]

1♀, 横浜市本牧, 27.VII.1957, S. Ueki. [37131]

1♀, 横浜市戸塚区舞岡町, 8.VII.1973, 橋本 修. [36940]

1♀, 横浜市戸塚区舞岡町, 16.VII.1978, 橋本 修.

[36941]

2♂♂, 横浜市金沢区六国峠, 21.VIII.1971, 採集者不明. [25705, 25706]

1♀, 逗子市久木, 7.VII.1962, 浜口哲一. [1909]

1♀, 逗子市鷹取山, 9.VI.1962, 浜口哲一. [1908]

3♀♀, 逗子, 3.VII.1959, 大場信義. [25702, 36942, 37132]

1♀, 横須賀市上町, 29.VI.1976, 山田. [36943]

2♀♀, 横須賀市天神, 21.V.1977, 原田. [25700, 25698]

1♀, 横須賀市馬堀, 00.VI.1981, 大場信義. [25697]

1♀, 横須賀市久留和, 6.IX.1975, 大場信義. [25707]

2♀♀, 横須賀市野比, 11.VII.1971, 坂本繁夫. [6259, 6260]

1♀, 横須賀市野比, 15.VIII.1971, 坂本繁夫. [6261]

1♀, 横須賀, 24.VII.1979, 鈴木 裕. [25703]

1♀, 三浦市引橋, 10.VI.1979, 大場信義. [25701]

1♂, 寒川町, 10.I.1999, 及川裕彦. [36944]

上記の YCM-I 6259, 6260, 6261 のラベルの地名は「久里浜病院」(現在の久里浜医療センター)と記されているが、所在地の野比と表記した。また、これらの採集年はいずれも「46」と記されているが、昭和46年(1971年)とみなした。

クロタマムシ *Buprestis (Ancylocheira) haemorrhoidalis japonensis* E. Saunders, 1873 (第3図n)

1♂, 横浜市金沢区六浦, 20.VII.1970, 小熊良明.

[36945]

1♂, 横浜市金沢区六国峠, 19.VIII.1973, 採集者不明. [25711]

1♂, 鎌倉市十二所, 24.VII.1971, 大場信義. [37133]

1♂, 鎌倉市十二所, 25.VII.1972, 大場信義. [25712]

1♀, 逗子市桜山, 12.VIII.1955, 石渡裕之. [36946]

1♀, 逗子, 26.VI.1959, 大場信義. [25709]

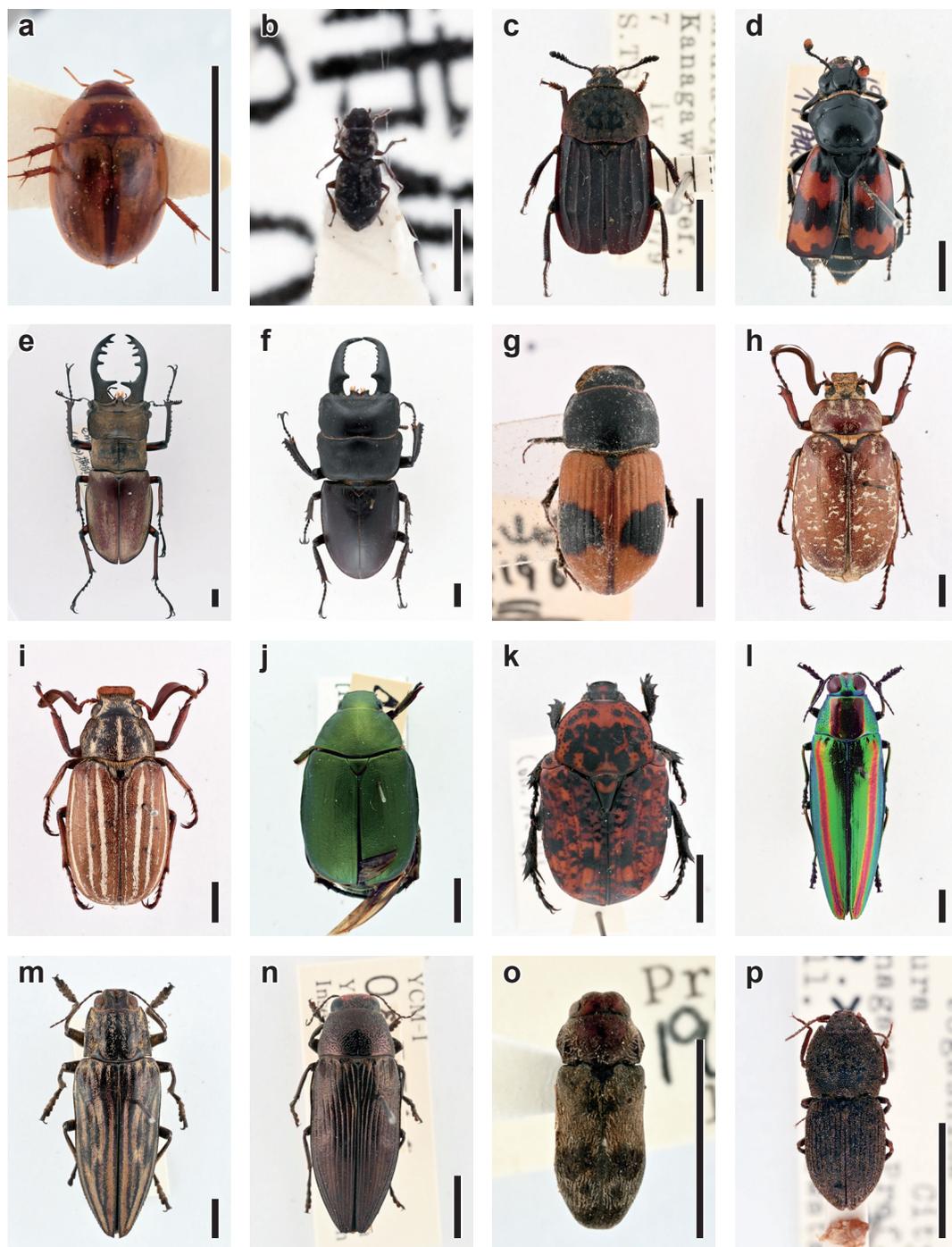
1♀, 逗子, 8.VII.1959, 大場信義. [25710]

1♀, 横須賀市船越町, 17.VII.1963, 浜口哲一. [1911]

1♀, 横須賀市坂本町, 17.VI.1958, 採集者不明.

[25708]

本種は神奈川県レッドリストには未掲載である



第3図 本報掲載種の標本写真。その3。a マルヒラタガムシ [36856], b クロコブセスジダルマガムシ [36869], c ヒメヒラタシデムシ [36872], d ヤマトモンシデムシ [36874], e ミヤマクワガタ [6392], f ヒラタクワガタ [36887], g オオフタホシマグソコガネ [36888], h ヒゲコガネ [36896], i シロスジコガネ [36931], j ヤマトアオドウガネ [4679], k アカマダラハナムグリ [36934], l タمامシ [36935], m ウバタمامシ [36941], n クロタمامシ [36945], o アヤムナビロタمامシ [36948], p イズヒメサビキコリ [36956]。スケールはbのみ1 mmで他はすべて5 mm。

が、川島 (2020) が指摘しているように、同じくマツ類を寄主とするウバタマムシに比べ、近年の減少傾向がより顕著である。

アヤムナビロタマムシ *Sambus quadricolor quadricolor*
E. Saunders, 1873 [絶滅危惧II類] (第3図o)

5exs., 横須賀市猿島, 00.VII.1982, 大場信義.
[36947–36951]

コメツキムシ科 Elateridae Leach, 1815

イズヒメサビキコリ *Agrypnus miyamotoi ishiharai*
Ôhira, 1994 [絶滅危惧II類] (第3図p)

1♂2♀, 横浜市金沢区六浦, 10.VII.1970, T. Kimaru.
[36952–36954]

1♀, 横浜市金沢区六浦, 20.VII.1970, 小熊良明.
[36955]

1♀, 三浦市城ヶ島, 11.X.1981, 石渡裕之. [36956]

1♂1♀, 三浦市城ヶ島, 23.XI.1982, 石渡裕之. [36957,
36958]

同定には大平 (2004) および近似種を含む比較標本を参照した。

ウバタマコメツキ *Cryptalaus berus* (Candèze, 1865)
[準絶滅危惧] (第4図a)

2exs., 横浜市金沢区六浦, 20.II.1981, 土屋裕志.
[36959, 36960]

3exs., 横浜市金沢区六浦, 3.III.1981, 土屋裕志.
[36961–36963]

1ex., 横浜市金沢区六国峠, 21.VIII.1971, 採集者不明. [36964]

1ex., 逗子市二子山, 2.IV.1957, 石渡裕之. [36965]

2exs., 逗子市二子山, 28.IV.1963, 浜口哲一. [36966,
36967]

1ex., 逗子, 22.VI.1960, 大場信義. [36968]

2exs., 横須賀市十三峠, 6.I.1963, 浜口哲一. [36969,
36970]

1ex., 横須賀市秋谷, 20.I.1963, 浜口哲一. [36971]

1ex., 横須賀市三春町, 30.VI.1952, 採集者不明.
[36972]

1ex., 三浦市引橋, 10.VI.1979, 大場信義. [36973]

1ex., 大和市中央林間, 2.VI.1979, 露木繁雄. [36974]

1ex., 大磯, 20.V.1978, 高桑正敏. [36975]

ホタル科 Lampyridae Rafinesque, 1815

ヘイケボタル *Aquatica lateralis* (Motschulsky, 1860)
[準絶滅危惧] (第4図b)

3exs., 横須賀市野比, 17.VI.1980, 大場信義. [36976–

36978]

1ex., 横須賀市野比, 7.VII.1993, 大場信義. [36979]

1ex., 横須賀市野比, 19.VII.1995, 川島逸郎. [36980]

1ex., 横須賀市野比 (かがみ田谷戸), 21.VI.2000, 角
田 亘. [36981]

2exs., 横須賀市長沢, 5.VII.1993, 大場信義. [36982,
36983]

1ex., 横須賀市吉井, 10.VII.1987, 大場信義. [36984]

コクヌスト科 Trogossitidae Latreille, 1802

オオコクヌスト *Temnoscheila japonica* (Reitter, 1875)
(第4図c)

2exs., 大磯, 20.V.1978, 高桑正敏. [36985, 36986]

本種は神奈川県レッドリストには未掲載であるが、マツ類の枯死木に生息することから、近年のマツ類の急激な減少に伴って本種も減少している可能性が高い (齋藤, 未発表)。

ジョウカイモドキ科 Melyridae Leach, 1815

イソジョウカイモドキ *Laius asahinai* Nakane, 1955
[絶滅危惧II類] (第4図d)

1♀, 横須賀市佐島, 2.VI.2000, 角田 亘. [36987]

テントウムシ科 Coccinellidae Latreille, 1807

ヤマトヒメテントウ *Scymnus (Neopullus) yamato* H.
Kamiya, 1961 [準絶滅危惧] (第4図e)

1ex., 逗子市久木, 5.VIII.1962, 浜口哲一. [2201]

上記の標本のラベルは「逗子市久木堀ノ内」と記されている。

カミキリモドキ科 Oedemeridae Latreille, 1810

サタカミキリモドキ *Indasclera japonica* (Pic, 1910)
[絶滅危惧II類] (第4図f)

1ex., 横須賀市走水 (観音崎公園), 10.VI.2000, 角田
亘. [36988]

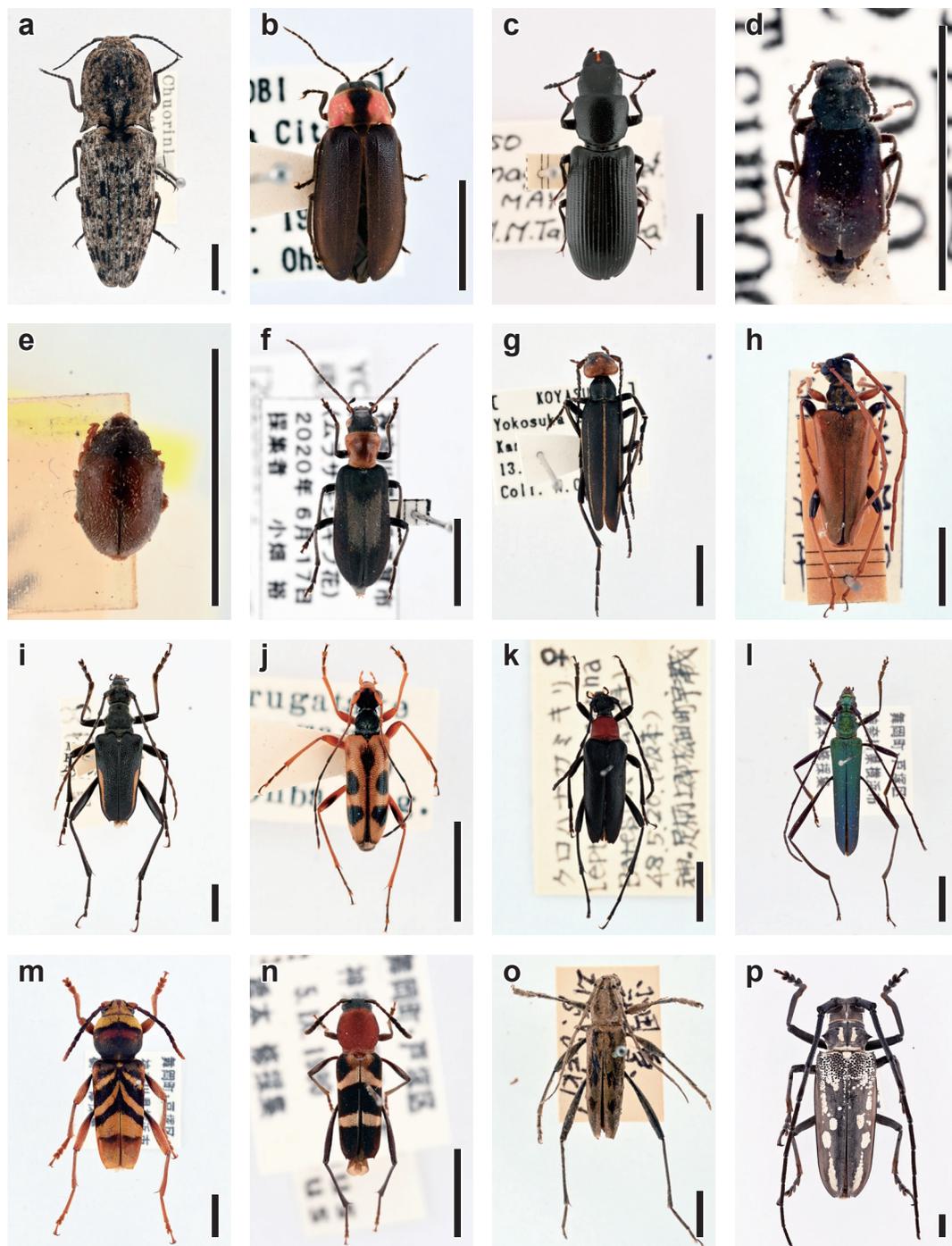
2exs., 横須賀市走水 (観音崎公園), 17.VII.2000, 角田
亘. [36989, 36990]

2exs., 横須賀市走水 (観音崎公園), 2.VI.2001, 角田
亘. [36991, 36992]

5exs., 横須賀市観音崎, 25.VI.2019, 小畑 裕. [36993–
36997]

2exs., 横須賀市観音崎, 5.VII.2019, 小畑 裕. [36998,
36999]

13exs., 横須賀市観音崎, 17.VI.2020, 小畑 裕.
[37000–37012]



第4図 本報掲載種の標本写真、その4。a ウバタマコメツキ [36974], b ヘイケボタル [36976], c オオコクヌスト [36986], d イソジョウカイモドキ [36987], e ヤマトヒメテントウ [2201], f サタカミキリモドキ [37012], g マメハンミョウ [37013], h モモグロハナカミキリ [37014], i キベリカタビロハナカミキリ [37015], j ヨコモンヒメハナカミキリ [37020], k ムネアカクロハナカミキリ [37023], l ミドリカミキリ [37025], m トラフカミキリ [37028], n ブドウトラカミキリ [37033], o ケイロトラカミキリ [37034], p シロスジカミキリ [37035]。スケールはいずれも5mm。

上記の観音崎産のうち、2019年採集の標本のラベルには「マサキ花掬い」、2020年採集のものには「ムラサキシキブ花」と付記されている。

ツチハンミョウ科 Meloidae Gyllenhal, 1810

マメハンミョウ *Epicauta (Epicauta) gorhami* (Marseul, 1873) [要注意種] (第4図g)

1ex., 横須賀市子安, 13.VIII.1987, 大場信義. [37013]

カミキリムシ科 Cerambycidae Latreille, 1802

モモグロハナカミキリ *Toxotinus reinii* (Heyden, 1878) [準絶滅危惧] (第4図h)

1♂, 清川村物見峠, 31.V.1970, 石渡裕之. [37014]

キベリカタビロハナカミキリ *Pachyta erebia* Bates, 1884 [絶滅危惧I類] (第4図i)

1♂, 丹沢山, 25.VII.1979, 採集者不明. [4298]

1♂, 塔ノ岳, 31.VII.1977, 採集者不明. [37015]

上記の塔ノ岳産のラベルには「塔ヶ岳」と記されている。

ヨコモンヒメハナカミキリ *Cryptopidonia insuturata* (Pic, 1901) (第4図j)

7♂♂, 蛭ヶ岳, 14.VII.1979, 大場信義. [37016-37022]

同定には窪木 (2024) を参照した。神奈川県における本種は丹沢山地の高標高地から記録があり、「丹沢では普通に得られる」とされ (平野ほか, 2018), 神奈川県レッドリストには未掲載であるが, 近年の調査ではわずかに得られているのみで, 減少傾向が顕著であると考えられる (河合秀樹氏私信)。

ムネアカクロハナカミキリ *Leptura dimorpha* Bates, 1873 [準絶滅危惧] (第4図k)

2♀♀, 松田町宇津茂, 20.V.1973, 坂本繁夫. [37023, 37024]

上記の採集年はいずれも「48」と記されているが, 昭和48年 (1973年) とみなした。

ミドリカミキリ *Chloridolum (Leontium) viride* (Thomson, 1864) [準絶滅危惧] (第4図l)

1ex., 横浜市戸塚区舞岡町, 17.V.1987, 橋本 修. [37025]

トラフカミキリ *Xylotrechus (Xyloclytus) chinensis kurosawai* Fujita, 2010 [要注意種] (第4図m)

1ex., 横浜市中区北方町, 10.VIII. 1967, S.Ueki. [37026]

1ex., 横浜市戸塚区舞岡町, 22.VII.1997, 橋本 修. [37027]

1ex., 横浜市戸塚区舞岡町, 3.VIII.1998, 橋本 修.

[37028]

2exs., 横浜市戸塚区舞岡町, 17.VII.2000, 橋本 修.

[37029, 37030]

2exs., 横浜市戸塚区舞岡町, 11.VIII.2000, 橋本 修.

[37031, 37032]

ブドウトラカミキリ *Xylotrechus (Xylotrechus) pyrrhoderus pyrrhoderus* Bates, 1873 [準絶滅危惧] (第4図n)

1ex., 横浜市戸塚区舞岡町, 5.IX.1980, 橋本 修.

[37033]

キイロトラカミキリ *Grammographus notabilis notabilis* (Pascoe, 1862) [要注意種] (第4図o)

1ex., 小田原, 21.VI.1957, S.Ueki. [37034]

シロスジカミキリ *Batocera lineolata* Chevrolat, 1852 [要注意種] (第4図p)

1♀, 横浜市中区北方町, 15.VII. 1958, S.Ueki. [37135]

1♂, 横浜市鶴ヶ峰, 23.VI. 1964, S.Ueki. [37136]

1♂, 横浜市戸塚区舞岡町, 19.VII.1990, 橋本 修.

[37035]

1♀, 横浜市戸塚区舞岡町, 1.VI.1993, 橋本 修.

[37036]

1♀, 横須賀市公郷, 00.VII. 1953, 採集者不明. [37134]

ハンノキカミキリ *Cagosima sanguinolenta* Thomson, 1864 [絶滅危惧II類] (第5図a)

1ex., 秦野市震生湖, 23.VI.1965, S.Ueki. [37037]

ハムシ科 Chrysomelidae Latreille, 1802

オオルリハムシ *Chrysolina (Erythrochrysa) virgata* (Motschulsky, 1860) [希少種] (第5図b)

35exs., 箱根町仙石原, 22.VII.1979, 大場信義.

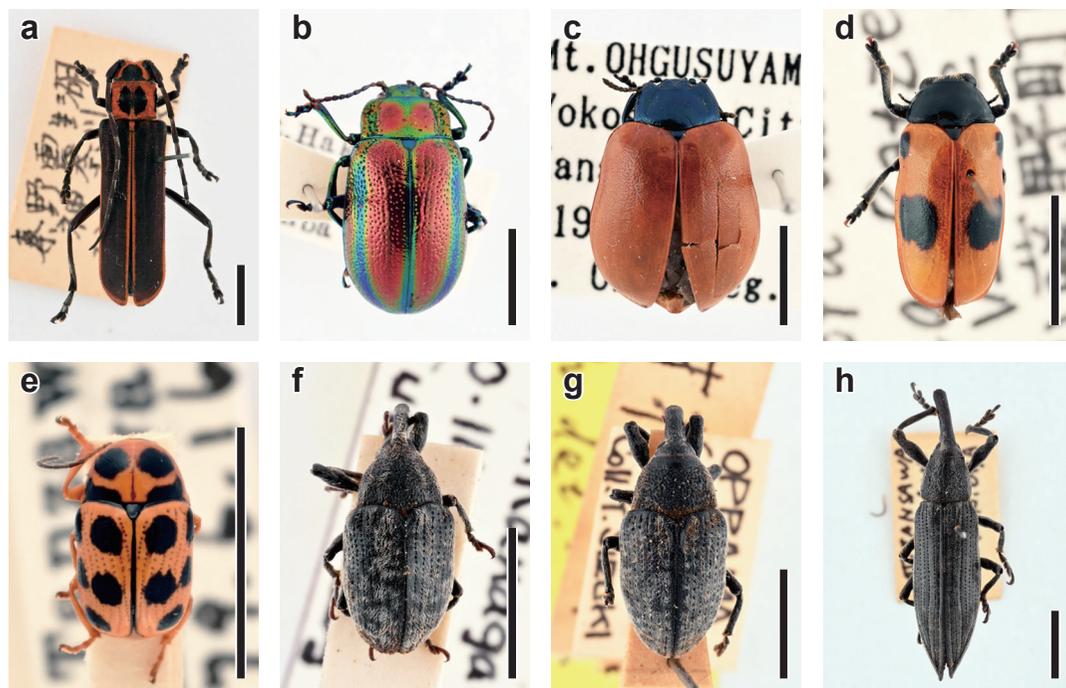
[37038-37072]

ドロノキハムシ *Chrysomela populi* Linnaeus, 1758 [絶滅] (第5図c)

1ex., 横須賀市大楠山, 7.VII.1985, 大場信義.

[37073]

本種は低山地～山地に生息し, ドロノキ, ヤマナラシおよびヤナギ類を寄主植物としている (滝沢, 2007)。神奈川県における本種の記録は, 1957年の箱根町乙女峠 (平野, 1966), 1979年の山北町蛭ヶ岳 (神奈川県昆虫調査団編, 1981) および1983年の旧津久井町三ヶ木 (相模原市立博物館, 2001) の各1例のみである (ほかに戦前に採集された産地不詳の1例が知られる) (平野ほか, 2018)。また, 本種の寄主植物のうち, ドロノキは県内に自生しておらず, ヤマナラシは三浦半島からは未確認で, 横浜市内でも



第5図 本報掲載種の標本写真。その5。a ハンノキカミキリ [37037], b オオルリハムシ [37041], c ドロノキハムシ [37073], d ヨツボシナガツツハムシ [37074], e ジュウシホシツツハムシ [4300], f ゴボウゾウムシ [37076], g シラクモゴボウゾウムシ [37078], h オオカツオゾウムシ [37080]。スケールはいずれも5 mm。

1960年代以降は開発により衰退したとされる(長谷川・勝山, 2018)。これらのことから, 上記の横須賀市産の標本は偶産ないし誤記録(ラベルの付け間違いなど)が疑われるが, 平野(1997)には「かつては平地にも生息していた」との記述があり, 三浦半島に自生する他種のヤナギ類などに依拠して生息していた可能性もある。なお, 本報告では割愛したが, ラベルに「葉山町」とのみ記され, 採集年月日と採集者が不明の本種1個体も確認している。

ヨツボシナガツツハムシ *Clytra arida* Weise, 1889 [準絶滅危惧] (第5図d)

1♀, 相模原市緑区(旧藤野町)陣馬山, 16.VI.1972, 坂本繁夫. [37074]

本報告では割愛したが, ラベルに「葉山町」とのみ記され, 採集年月日と採集者が不明の本種2個体も確認している。

ジュウシホシツツハムシ *Cryptocephalus tetradecaspilotus* Baly, 1873 [絶滅危惧II類] (第5図e)

1♀, 丹沢山, 16.VI.1979, 採集者不明. [4300]

1♀, 箱根山, 22.VII.1979, 大場信義. [37075]

ゾウムシ科 Curculionidae Latreille, 1802

ゴボウゾウムシ *Larinus (Phyllonomeus) latissimus* Roelofs, 1873 (第5図f)

1ex., 横浜市金沢区釜利谷, 20.III.1966, 鈴木裕. [37076]

本種および次種は神奈川県レッドリストには未掲載である。本種は県西部の旧藤野町, 旧津久井町および大磯町(平野, 2004; 平野ほか, 2018), 秦野市(齋藤, 未発表)の記録があるのみで, 「他県では普通と思われるが, 県内では少ない」とされている(平野, 2004)。しかし, 上記のようにこれまで知られていなかった県東部の横浜市の標本が見出されたことから, かつては県内に広く分布していたものが, 著しく衰退した可能性が高い。

シラクモゴボウゾウムシ *Larinus (Phyllonomeus) griseopilosus* Roelofs, 1873 (第5図g)

1ex., 横須賀市衣笠, 30.VII.1953, 採集者不明. [37077]

1ex., 横須賀市追浜, 16.VII.1956, 鈴木裕. [37078]

本種は横浜市, 三浦市, 旧相模原市, 旧城山町および秦野市から記録があるが(平野, 2004), 最近では丹沢山地で確認されているのみで(齋藤, 未発表), 前種と同様に著しく減少した可能性が高い。

オオカツオゾウムシ *Lixus (Eulixus) divaricatus*

Motschulsky, 1861 [絶滅] (第5図h)

1ex., 秦野市菩提峠, 23.VII.1963, 浜口哲一. [37079]

1ex., 丹沢山, 20.VI.1959, 大場信義. [37080]

本報告では, 横須賀市自然・人文博物館に所蔵されている神奈川県レッドリストに関連する20科72種について記録した。なかでも特筆すべき種として, 以下のものが挙げられる。

絶滅種と判定されているオオカツオゾウムシは, いずれも1960年前後に採集された古い標本であるが, これまで神奈川県内では1950年に秦野市堀山下大倉で採集された1例(相模原市立博物館, 2001)が知られるのみであった。本報告によって新たに見いだされた2例の記録は, 本種がかつては丹沢山地に広く生息していた可能性を示唆している。

同じく絶滅種とされるキベリクロヒメゲンゴロウは, 神奈川県においては岡野(1941)の目録や平野(1957)の採集記に種名が挙げられていたのみで, 標本を伴う記録は本報告が初めてのものになる。この標本のラベルには, 藤沢市片瀬で1935年8月29日に採集されたことが記され, 「ヨル」と付記されていることから, おそらく夜間灯火に飛来した個体が採集されたものと推測される。本報告で記録したゲンゴロウ [絶滅] やケシゲンゴロウ [絶滅危惧IA類], コガシラミズムシ [絶滅危惧IB類] のほか, 高桑(1987)によって報告されたマルガタゲンゴロウ [絶滅危惧IA類] やコガタノゲンゴロウ *C. (C.) tripunctatus lateralis* (Fabricius, 1798) [絶滅] (両種とも標本は横須賀市自然・人文博物館に所蔵されている) にも, 同日同所で採集されたことを示すラベルがつけられている。いずれも植生の豊富な水田や池沼などに生息する種であり(高桑ほか編, 2006), これらの標本は, 当時その周囲に水生甲虫の豊産する自然度の高い水辺環境が存在したことの証左である。

また, ミズスマシ [準絶滅危惧], カワラゴミムシ [絶滅危惧II類], ツブゲンゴロウ [絶滅], クロズマメゲンゴロウ [絶滅危惧II類], オオフタホシマグソコガネ [準絶滅危惧], ドロノキハムシ [絶滅],

ゴボウゾウムシ [未掲載] およびシラクモゴボウゾウムシ [未掲載] の8種は, 本報告で記録した産地を含めて三浦半島からはすでに絶滅した可能性が高く, それ以外の種についても, 絶滅したと思われる産地の記録が少なくない。

今後, 本報告のように, これまで未発表であった古い記録が掘り起こされることによって, レッドリストに関連する種の過去の生息状況がより明瞭となることが期待される。

報告にあたり, 三浦半島昆虫研究会の中村進一氏, 露木繁雄氏, 小畑 裕氏, 太田武蔵氏, 藤田雅也氏, 神奈川県昆虫談話会の鈴木 徹氏, 鈴木さおり氏, 神奈川県立三浦初声高等学校の伊藤陽人氏には資料の調査にご協力いただいた。神奈川県昆虫談話会の河合秀樹氏には神奈川県内のカミキリムシ科の最近の生息状況についてご教示いただいた。九州大学大学院地球社会総合科学府の柳沼嘉偉斗氏と神奈川県昆虫談話会の岩崎響亮氏には水生甲虫の同定に関してご教示いただいた。以上の方々に感謝申し上げます。

引用文献

- 長谷川義人・勝山輝男 2018. ヤナギ科 SALICACEAE. 神奈川県植物誌調査会(編), 神奈川県植物誌2018 (下): 968–989. 神奈川県植物誌調査会, 小田原.
- 橋本慎太郎・内船俊樹 2010. 横須賀市自然・人文博物館所蔵三浦半島産カミキリムシ目録. 横須賀市博物館資料集, (34): 1–49.
- 林 匡夫・森本 桂・木元新作(編) 1984. 原色日本甲虫図鑑(IV). 438ページ. 保育社, 大阪.
- 平野幸彦 1957. 八月上旬仙石原付近の甲虫. 神奈川県虫報, (12): 4–7.
- 平野幸彦 1966. 西湘地方産ハムシ類について III [ハムシ亜科, ホソハムシ亜科, カメノコハムシ亜科について]. 神奈川県虫報, (19): 4–10.
- 平野幸彦 1997. 神奈川県のハムシ類. 神奈川県虫報, (120): 1–53.
- 平野幸彦 2004. コウチュウ目 Coleoptera. 神奈川県昆虫誌2004, [II]: 335–835. 神奈川県昆虫談話会, 小田原.
- 平野幸彦・秋山秀雄・松原 豊・守屋博文・西川正明・野津 裕・高橋和弘・滝沢春雄・露木繁雄・渡辺崇 2018. コウチュウ目 Coleoptera. 神奈川県昆虫誌2018: 227–639, 神奈川県昆虫談話会, 小田原.

- 上手雄貴・森 正人・司村宜祥・松井英司 2013. 日本産シジミガムシについて. さやばねニューシリーズ, (9): 12-15.
- 神奈川県昆虫調査団 (編) 1981. 神奈川県の動物相 神奈川県昆虫調査報告書. 469 ページ. 神奈川県教育委員会, 横浜.
- 神奈川県レッドデータ生物調査団 (編) 1995. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書. 神奈川県立博物館調査研究報告 (自然科学) 第7号. 257 ページ, 8 pls. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.
- Kasahara S. 1989. A new species of the genus *Stenolophus* (Coleoptera, Carabidae) from central Japan. *Elytra*, 17(2): 153-157.
- 川島逸郎 2020. 三浦半島産クロタマムシの最近の記録. 神奈川虫報, (202): 73.
- 窪木幹夫 2024. 日本のヒメハナカミキリ. 168 ページ. むし社, 東京.
- 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之 (編) 1985. 原色日本甲虫図鑑 (III). 500 ページ. 保育社, 大阪.
- 中島 淳・林 成多・石田和男・北野 忠・吉富博之 2020. ネイチャーガイド 日本の水生昆虫. 351 ページ. 文一総合出版, 東京.
- 岡野磨瑳郎 1941. 神奈川縣産甲蟲誌 (1). 蟲の世界, 4(7/8): 31-34.
- 大平仁夫 2004. 日本産サビキコリ属の形態について (III) (甲虫目: コメツキムシ科, サビキコリ属, ヒメサビキコリ亜属). 比和科学博物館研究報告, (43): 67-89, pls. I-XVII.
- 相模原市立博物館 (編) 2001. 相模原市立博物館資料目録 [3] 桐生亮コレクション標本目録. 199 ページ. 相模原市立博物館, 相模原.
- 齋藤 理・松原 豊 2021. 神奈川県甲虫誌2020. 神奈川虫報, (204): 105-117.
- 佐野真吾・荻部治紀・吉崎真司 2018. 横浜市の止水域における水生昆虫の生息状況, 水生甲虫. 神奈川自然誌資料, (39): 51-60.
- 高桑正敏 1987. 神奈川県産ゲンゴロウ類資料 (1). 神奈川自然誌資料, (8): 85-88.
- 高桑正敏・勝山輝男・木場英久 (編) 2006. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006. 442 ページ. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.
- 滝沢春雄 2007. 日本産ハムシ科生態覚書 (2). 神奈川虫報, (157): 17-26.
- 内船俊樹 2017. 横須賀市自然・人文博物館所蔵 秋山秀雄氏収集 鎌倉市十二所産甲虫類コレクション目録. 横須賀市博物館資料集, (41): 1-46, pls. A-F.
- 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝 (編) 1985. 原色日本甲虫図鑑 (II). 514 ページ. 保育社, 大阪.